



山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和5年4月10日発行

第2号 校長 武藤 雅雄

前期始業式 校長講話 武藤 雅雄（抜粹）

みんなが新たな気持ちで4月をスタートするために、「2つのR」と「3つのC」の話をしていきます。

過去は変えることはできません。しかし、気持ちを切り替えることはできます。それが1つ目のR、RESET（リセット）です。気持ちを切り替えることで、未来を変えることができます。それが2つ目のR、RESTART（リスタート）です。

自分を変える CHANGE（チェンジ）が1つ目のCです。チェンジのGの中にあるTを取ると CHANCE（チャンス）に変わります。自力で課題解決したときが2つ目のC、チャンスです。次に、チェンジのAとNの間に LOOK（よく見る）、LISTEN（よく聞く）、ENJOY（楽しむ）の頭文字 LLE を入れると、CHALLENGE（チャレンジ）に変わります。これが3つ目のCです。

まとめです。令和5年度が始まります。過去をリセットして、今日からリスタートです。自分を変えるチェンジを怖がらず、チャンスを手にし、楽しみながらチャレンジすることがあなたの成長につながります。新入生と共に、山中魂「正義・勇気・土根性」の精神を発揮し、笑顔と元気で山中の新たな伝統と歴史を積み上げていくことを期待しています。

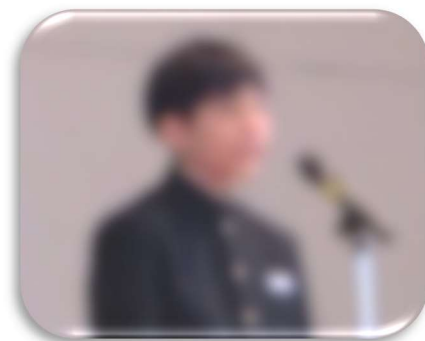


職員紹介の様子です

始業式「生徒代表 新年度の抱負」

2年生代表 （抜粹）

僕が今年度がんばりたいことは、勉強と部活の両立です。昨年度、なかなか勉強に集中できず、計画通りに進められなかったり、目標としていた勉強時間を達成することができなかつたりして、テストで思うように力が出せませんでした。だから今年度は、家庭学習を充実させたいです。



部活動では、自分の課題について調べたり、学校にいる時間だけではなく、家でもできることをやったりして工夫しましたが、両立がしっかりできませんでした。今年度は部活も学習も大事な時期になるので、しっかり両立できるようにしていきたいです。

次に生徒会活動です。今年は書記局員として活動する上で、意識していきたいことが2つあります。1つは、「凡事徹底」です。当たり前のことを確実に行うということです。山中をより魅力ある学校にするには、見過ごされがちな当たり前のことから大切にしていくな必要があると思います。あじみこ+そなどを常に頭に入れて、ささいなことにでも気づいていけるようにしたいです。もう1つは、積極的・効率的に行動することです。そうすれば、スムーズに準備をすることができて余裕が生まれます。凡事徹底、積極的・効率的を意識しながら、生徒会活動に取り組み、昨年度学んだことを活かせる1年にしたいです。

3年生代表 (抜粋)

僕が今年目指したい目標は、「点滴穿石（てんてきせんせき）」です。小さなことでも積み重ねれば大きなことを成し遂げる力になるという意味です。僕は、この目標を達成するために3つの頑張りたいことを決めました。



1つ目は勉強です。僕たち3年生は受験生になり高校進学に向けて努力する年になりました。だから、自分の進みたい進路に向けて、毎日の宿題+その日の授業の内容のワークを復習します。また、テスト前にはワークの2回目、3回目ができるように、時間に余裕をもって学習を進めて受験に備えたいです。

2つ目は部活です。僕は野球部に所属しており、キャッチャーをやっています。チーム全体を見回し、相手の特徴を見極める大事なポジションです。しかし、僕は声掛けや守備でできないことがたくさんあります。だから、これからの練習を大切に、チームのみんなと連携を確認し、練習試合にも全力を出してみんなと一緒に向上していきたいです。

3つ目は生徒会です。僕は副会長として山中をよりよい学校にしたいと思っています。そのために、僕の掲げる公約の「学年の差を越えた交流」や「メリハリのある山中」などの生徒会4役の公約を達成することが必要だと考えました。公約を達成するために、ベル着や行事で全校のみんなの意見を交わし合うといった活動を、積極的に行っていきたいです。僕はこの3つのことを毎日意識して生活し、目標を達成したいです。